

剣道

総合体育大会

男子団体戦

<予選リーグ> A : 1位 大 浜 2位 菊川東
 B : 1位 御前崎 2位 岳 洋

<決勝リーグ>

学校名	スコア	学校名
菊川東	1 : 1	御前崎
菊川東	3 : 0	大 浜
菊川東	3 : 2	岳 洋

学校名	スコア	学校名
御前崎	4 : 1	岳 洋
御前崎	1 : 3	大 浜
岳 洋	4 : 1	大 浜

大会結果 優 勝 菊川東 準優勝 御前崎 3 位 岳 洋

女子団体戦

<予選リーグ> A : 1位 御前崎 2位 大 浜
 B : 1位 大須賀 2位 岳 洋

<決勝リーグ>

学校名	スコア	学校名
御前崎	3 : 0	岳 洋
御前崎	5 : 0	大 浜
御前崎	3 : 0	大須賀

学校名	スコア	学校名
岳 洋	4 : 1	大 浜
岳 洋	1 : 0	大須賀
大須賀	3 : 1	大 浜

大会結果 優 勝 御前崎 準優勝 岳 洋 3 位 大須賀

個人戦

大会結果 (男子) 優 勝 澤島 帆喬 (岳 洋) 準優勝 佐野 立流 (菊川東)
 3 位 高橋 健太 (大須賀) 3 位 尾崎 貴光 (御前崎)

大会結果 (女子) 優 勝 植田 琴葉 (御前崎) 準優勝 齋藤 かこ (御前崎)
 3 位 竹内 爽賀 (菊川東) 3 位 小林 朱音 (大須賀)

大会寸評

菊川市立菊川西中学校 山下 翔市

中学3年生にとって最後の大会。どの中学校も冬場は剣道における基礎を鍛え、春からは技を更に磨きこの日に備えてきた。

男子は県大会出場枠が一つの狭き門の中、今年は例年に無く混戦でどこの中学校が県大会に出場してもおかしくない状況だった。その中で、絶対的な大将を擁する菊川東中が優勝した。チーム全体で、何が何でも大将までつなげようとす気持ちが見られた。

女子は、例年レベルの高い地区の中、御前崎中が3年ぶりに優勝した。去年の新人戦から1つ飛び抜けていた印象で、この冬を越えて更にチームのまとまりや技術を高めてきた。また、岳洋中が1年生の加入により5人で団体出場が可能になり、大須賀中を下して県大会出場を決めた。

菊川東中、御前崎中、岳洋中が県大会でも十分通用する技量のある中学校なので、先の気持ちを持ち、打たれることを恐れずに試合をして、上位に入ることを期待したい。

優勝作文（男子）

菊川市立菊川東中学校 佐野 立流

僕は、小学生の時から剣道をやっていたため、中1の時から試合に出て、1年生時の中体連にも出場した。しかし、自分は何もすることができず先輩方の夏を終わらせてしまった。だから、絶対に優勝して県大会に出場しようと決意した。

この決意から2年、様々なことを乗り越えて、ついに小笠地区大会がやってきた。僕たちは新人戦で優勝したので負けるわけにはいかない。新人戦の時とは違い、他校は必死で僕たちに挑んでくると思った。勝てるか心配だったが、目標を達成するために不安を払いのけながら試合をした。試合をしながら感じたことがある。それは、不安を減らすことができたのは自分の力だけではないということだった。今まで苦しい練習も共に乗り越えてきた仲間が存在、最後まで僕たちを信じてついてきてくれた後輩達がいたから不安に打ち克つことができたのだと思う。僕は大将という立場で試合を見ていると、仲間が必死に試合を行い、大将戦につないできてくれるので、その思いに答えようと僕も必死になった。優勝は、このようにチームが1つになったからだと思う。優勝が決まったとき、とても嬉しかった。今回の試合を通して、僕たちが引退しても後輩達が気持ちをつなぐ試合をしてくれると感じている。1つのチームになって試合をすることを菊川東中学校剣道部の伝統にしていきたい。

優勝作文（女子）

学校組合立御前崎中学校 齋藤 かこ

夏の大会に向け、本当にたくさんの事をやってきた。日々の練習では、基本から地稽古まで、厳しく・激しい稽古を、県外遠征では、全国の仲間と切磋琢磨しながら戦った。弱い気持ちが出てきた時、先生からは「大会は発表会だ。」と言われ、部員全員の気持ちを盛り上げ、必死で頑張った。

小笠地区大会、過去3年間つかむことが出来なかった優勝旗。先輩たちの思いを胸に、自分を信じ、仲間を信じて戦い、優勝旗をつかむことができた。しかし、私たちの目標は「県制覇」。長い夏の始まり。今まで支えてくれた仲間、先生方、そして家族への感謝を忘れず、これからも戦っていきたい。